



若竹だより

398



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
 ③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八ヵ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

つながり

園長 宮竹 恒

五色台の山々の紅葉が美しい季節となりました。子どもたちは自然の中で元気に過ごしています。

さて、11月9日、子どもたちは、太鼓の慰問に NP デイサービスセンターに行きました。

穴吹リハビリテーションカレッジから学生ボランティアの方も参加され、太鼓演奏を応援してくださいました。演奏が始まると、利用者の方の表情が変わり、中には涙を流される方もいらっしゃいました。演奏後、子どもたちは、利用者の方々と太鼓を通して交流しました。利用者様に太鼓の音を近くで聴いて頂いたり、一緒に太鼓を叩くこと等しました。

子どもたちが、自主的に利用者の方と交流しようとする姿に感銘を受けました。

翌日、徳島大学から学生さんが来園し、ヤギの世話を通して、子どもたちと交流しました。子どもたちは、自発的に参加し、大変喜んでいました。

2日間の子どもの様子から、太鼓の活動やヤギの活動は、子どもたちが他者とつながる大切な介在になっていることを実感しました。初めて出会う人と、話ができて、互いに笑顔で過ごせる体験は、子どもたちが、他者とのつながりを自分でつくる貴重な機会でした。子どもたちに出会って頂いた方々に心より感謝申し上げます。 一了一

『徳島大学』来園



11月10日、徳島大学から総合科学部の学生さんと教授・准教授の

方、合わせて25名が来園されました。この日は、普段ヤギのエサやりにはあまり参加しない子たちも、大勢が参加し、学生さんたちも併せてみんなでヤギの世話をしました。中学生の T 君は、いつものようにリードを握り、ヤギの散歩の先導をしました。また初めてヤギと触れ合う学生さんに対して、丁寧に教えたり、声掛けたりしながら活動している様子が印象的でした。学生さんとの交流を楽しんでいる子どもたちもいました。学生さんと会話を弾ませながら、笑顔を見せたり、テンションが上がったりしていました。



別れ際、バスの見送りの際には、大きく手を振り見送っていました。終わった後は、「楽しかった」と話し、子どもたちにとっても充実した一日になったようでした。



青峰・若竹学級だよ

秋見つけ

小学生は、総合的な学習の時間、図工、音楽、家庭科など様々な教科を通して秋見つけをしました。

例えば、総合的な学習の時間には、遍路小屋周辺の草抜きや花壇の手入れに行った際、みんなで柿狩りをしてお遍路さん用のかごに盛ったり、栗拾いをしたりしました。もちろん、草抜きや花壇の手入れの作業が終わればご褒美にみんなで柿を食べることも忘れません。頑張った後の柿は格別な味だったようです。



図工では、どんぐりや枝、色とりどりの落ち葉など自然のものを使って工作をしたり、はりねずみの壁飾りを作ったりしました。図工の作品は毎回、校舎の入り口付近に飾っています。中学生も学校の見学などによく見てくれていて、一緒に秋を感じることができました。



新スポーツに挑戦

小学生は、体育でジャベリックボール投げをしました。球体のボールと違い、ラグビーボールに羽が付いたような特殊な形状で、やり投げに似たフォームで投げます。うまく投げられると風を切る音が聞こえ、とても遠くまで飛ばすことができます。5校時後の中学生も参加して、みんなでブーンと音を響かせながら投げ合っている姿は微笑ましかったです。



合同授業(中学生)

保健体育や技術・家庭科、美術の授業をしました。美術の授業では色による感じ方の違いや、色の組み合わせによる効果などを学習しました。

学習の診断&期末テスト

中学3年生は、11月13日(水)に第4回学習の診断を実施しました。3年生にとっては進路を決めるための重要な時期となるので、自室での学習時間を有効に使い、意欲的に学習を重ね、全力で頑張りました。

また、11月27日(水)~29日(金)の3日間、2学期の総仕上げとして中学生は9教科のテストを実施しました。最後まで集中して取り組み、日頃の勉強の成果を発揮できました。

ウォークラリー

11 月 17 日にウォークラリーを行いました。毎年恒例のウォークラリーですが、例年は、全員が同



じコースを歩いていました。今年は、小学生の人数も多いため、新たな取り組みとして班ごとにチェックポイントで決まった時間内に、自分たちでおやつを購入するなどのミッションを作り、班によって違うコースを歩きました。



まずは、お楽しみ
の昼食まで歩き、

イオンでマックとフードコートに分かれて自分たちの好きな物を選んで食べました。

ミッションのおやつは、サンポートでみんな一緒に食べました。ゴールした後は、あかね温泉で入浴し、学園に戻ってきて子どものリクエストの鍋を食べました。



ウォークラリーを頑張ったご褒美を兼ねて外食に行きました。普段、学園では食べられない、お寿司、焼き肉、タピオカミルクティーなどがあり、楽しい食事ができました。

事故やケガがなくウォークラリーを終えられて安心するとともに、子どもたちが協力して頑張る姿に大きな成長を感じるウォークラリーになりました。

ウォークラリーを終えての感想を 園生に聞きました。

楽しかったウォークラリー

11 月 14 日にウォークラリーがありました。ウォークラリーでは渡されたミッションをクリアしながら全員でゴールすることが大事です。私の班は中学生全員だったので上手くいくか不安でした。途中でバラバラになってしまったけど、全員でゴールできたので良かったし、歩いた後に皆で食べた鍋がすごく美味しかったです。いい思い出がまた 1 つ増えました。皆と歩いて楽しかったです。(中 3 女兒)

楽しかったね！ウォークラリー

私は、今回のウォークラリーで最後まで歩いて良かったです。去年は、途中でリタイアしてしまったので、ゴール出来て良かったです。ウォークラリーで、ミッションをクリアしたり、ご飯を食べたり、お菓子を買ったりして楽しかったです。11 月 17 日にみんなで外食ですたみな太郎に行きました。私はえびのお寿司を 30 貫くらい食べました。とても美味しかったです。来年もゴールしたいです。(中 1 女兒)

サーカス



8 日に、木下大サーカスの鑑賞に行きました。サーカスが始まる前にテントの周りの店



舗でおやつを
購入しながら
期待を膨らま
せていまし
た。

ショーが始
まると、子
どもたちは、間
近で見るシマ
ウマやライオ

ンやホワイトタイガーに目を輝かせていま
した。またピエロの曲芸や空中ブランコ、数台
のバイクが球体状の金網に入り至近距離で回
転するというスタントショーなどに終始驚い
ていました。

あっという間に2時間が過ぎました。子
どもたちは満足し、帰りの車の中で、「またサ
ーカスを観に行きたい」と話していました。
このような経験をさせていただき本当にあり
がとうございました。

調理実習



夕方の60分間で、おでんの具材づくりを行
いました。寒くなってきた季節にピッタリの
おでん。興味を持った様子で子どもたちは参
加していました。ちくわを切ったり、肉団子
を作ったり、ゆで卵を作ったりと、簡単で分
かりやすい内容なのもあってか、協力しなが
ら意欲的に参加出来ていました。子どもたち
は完成したおでんを食べながら自然と笑顔に
なっていました。食べ終わった後も、あの時
のおでんおいしかったなと振り返る子どもも

いて、満足出来て良かったと感じました。

11月行事

8日	サーカス鑑賞
9日	太鼓慰問
14日	ウォークラリー
17日	ウォークラリーお疲れ様会
27日	食育(豚汁)
29日	買物学習

在籍人数

令和元年 12月1日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計
				(人)
男 子	小学生	5	1	6
	中学生	7	1	8
	計	12	2	14
女 子	小学生	4	0	4
	中学生	4	1	5
	計	8	1	9
合計		20	3	23

編集後記

秋の紅葉が綺麗にみられるようになりました。

ウォークラリーも終わり、今年もあと少しとな
りました。受験生は試験まであとわずかなので
意識が高まっています。体調管理に子どもと
一緒に気を付けながら、サポートしていきたい
と思います。

植松 圭吾

第308発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192
TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160
ホームページ <http://4on.or.jp>
Eメール wakatake@4on.or.jp
編集兼発行者 若竹学園 編集委員
発行責任者 宮竹 恒